

令和2年度における 手取川上流大汝国有林 崩壊地対策について

令和2年6月2日
林野庁近畿中国森林管理局
石川森林管理署



国民の森林・国有林



近畿中国森林管理局

令和2年度に実施する対策の概要

自然導入部

自然植生の侵入が見られており経過を観察



航空緑化導入工E

崩壊地の下部の安定化が確認された箇所に土壌づくりのための肥料等を散布(0.72ha)



航空緑化導入工 施工イメージ

航空緑化導入工：種子・肥料等を広範囲に散布

航空コア緑化工：ヤナギや種子を土留工の背面に集中的に散布

航空緑化導入工D-w

崩壊地の上部の比較的安定し、石礫が分布している箇所に木本類種子(近隣で採取)、肥料等を散布(0.59ha)

航空緑化導入工D-h

崩壊地の上部の谷部周辺の緑化を図るため、草本類種子(近隣で採取)、肥料等を散布(0.61ha)

航空コア緑化工B

斜面上部の土壌が比較的湿潤な箇所に、発根したヤナギの枝(近隣で採取)と赤玉土入り麻袋を散布(300個)



麻袋イメージ

袋型石詰筋工

地表面の侵食を防止し、航空コア緑化工Bの環境を整えるため石を詰めた袋を設置(30袋)



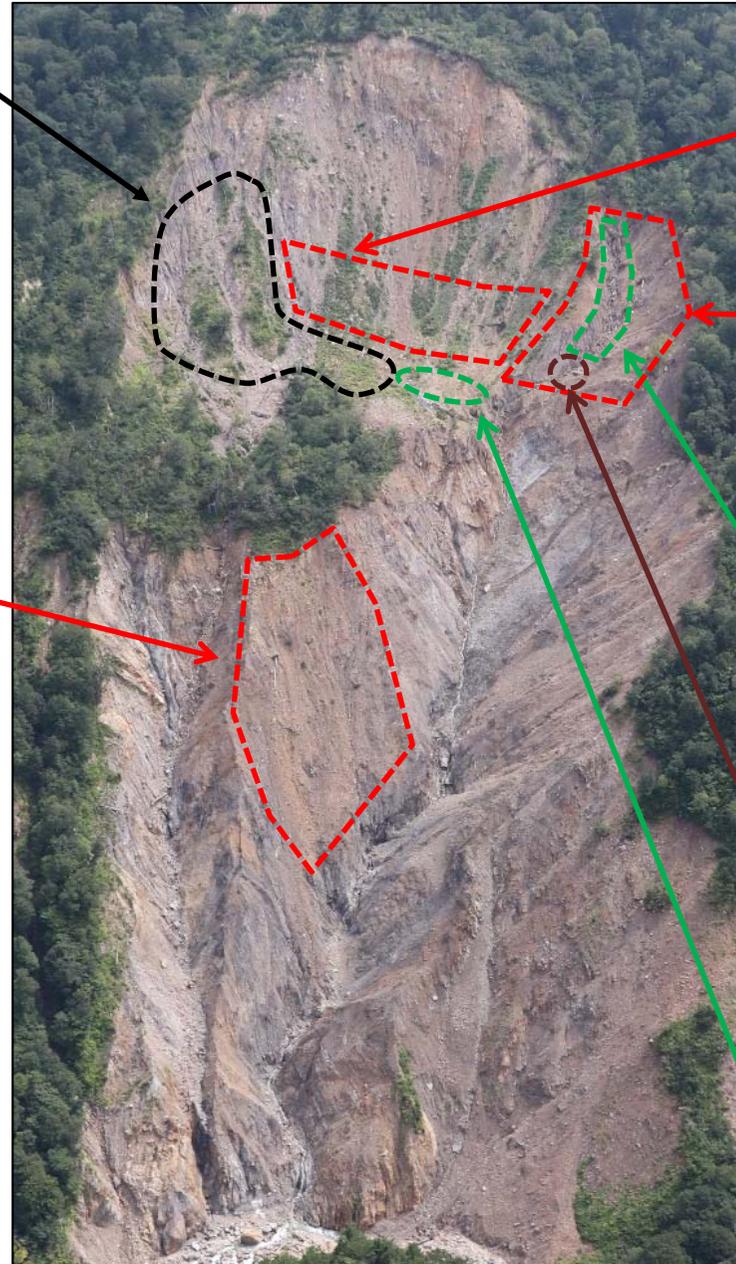
筋工イメージ

航空コア緑化工A

既設の土留工の上部を中心に種子(近隣で採取)と肥料、保水剤入り水溶紙製容器を散布(300個)



水溶紙製容器イメージ



撮影：令和元年8月28日(石川森林管理署)

令和2年度対策の進め方について

対策の進め方

- 6月 ● 航空緑化導入工D-h・D-w・E、航空コア緑化工A
(発芽に必要な温度、水分が得られるよう夏期に入る前に実施)
- 7月 ● 袋型石詰筋工、航空コア緑化工B
- 8月 ● 航空レーザー測量の実施
(航空レーザー測量の実施等により現地斜面に係る詳細データを把握しつつ経過を観察)
- 10月 ● 令和3年度対策用の種子採取を関係機関と連携し実施予定

【5月28日実施 崩壊地の現状確認の結果概要】

○雪融け後において、大規模な土砂移動は確認されず、全体的に昨年と比較して地形に大きな変化はないと考えられる。

○これまでの対策により崩壊地内における植生は回復傾向であり、昨年度は積雪が少ないこともあって、5月時点の芽吹きは早く、植生状況は良好である。今後、上部斜面は夏季に向けて植生の繁茂が進んでいくと考えられる。

○今後の対策としては、引き続き、植生の導入、土壌づくりを積極的に進めることが可能と考えられる。

崩壊地の状況



撮影：令和元年5月22日(石川森林管理署)



撮影：令和2年5月28日(石川森林管理署)